

## 意見の申立て及びその対応

## 学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

学部・研究科等番号・名称：2・教育学研究科

申立ての内容	申立てへの対応
<p><b>【評価項目】</b> I 教育水準 4. 学業の成果 <b>【判断理由】</b></p> <p><b>【原文】</b> 「免許状の取得率は高く、また<u>免許の平均</u> 2.4種類が多いなどの相応な成果があること から、」</p> <p><b>【申立内容】</b> <b>【修正文案】</b> のとおり変更願いたい</p> <p><b>【修正文案】</b> 「免許状の取得率は高く、また<u>一人当たり</u> <u>の免許状の取得も平均2.4種類が多いなど</u> の相応な成果があることから、」</p> <p><b>【理由】</b> 学部・研究科等の現況調査表 教育「2. 教育学研究科」(P.2-3)の観点に係る状況 の上から5行目では、「資料4-1-Dの とおり全ての年度において、修了時に一人 あたり平均2.4種の専修免許状を取得して いる」と記載しており、かつ、資料4-1 -D「教育職員免許状(専修免許状)取得 者数」でも、表中の( )書きにより、修了 者の教員免許状(専修免許状)取得平均数 を記載している。 上記のとおり、ここでの記載は、一人当 たり免許状の平均取得数を示していること から、修正文案のとおり変更願いたい。</p>	<p><b>【対応】</b> 意見のとおりとする。</p>

## 学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

学部・研究科等番号・名称：7・工学部

申立ての内容	申立てへの対応
<p><b>【評価項目】</b> I 教育水準 4. 学業の成果</p> <p><b>【判断理由】</b></p> <p><b>【原文】</b> 「平成19年度に「教育改善のための卒業生アンケート」を平成14年度から平成18年度卒業生に対して行っている」</p> <p><b>【申立内容】</b> <b>【修正文案】</b> のとおり変更願いたい</p> <p><b>【修正文案】</b> 「平成18年度に「教育改善のための卒業生アンケート」を平成13年度から平成17年度卒業生に対して行っている」</p> <p><b>【理由】</b> 学部・研究科等の現況調査表 教育「7. 工学部」(P. 7-21)の上から3行目では、「教育改善のための卒業生アンケート(平成19年3月)」と記載しており、かつ、別添資料Ⅱ「教育改善のための卒業生アンケート」(平成19年3月)及びP. 4の上から1行目に「平成14年3月から平成18年3月」と記載している。 上記のとおり理由から、修正文案のとおり変更願いたい。</p>	<p><b>【対応】</b> 意見のとおりとする。</p>

## 学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

学部・研究科等番号・名称：8・工学研究科

申立ての内容	申立てへの対応
<p><b>【評価項目】</b> I 教育水準 4. 学業の成果 <b>【判断理由】</b></p> <p><b>【原文】</b> 「平成18年度に平成14年度から平成18年度 修了生に対して行った<u>アンケート</u>によれば」</p> <p><b>【申立内容】</b> <b>【修正文案】</b> のとおり変更願いたい</p> <p><b>【修正文案】</b> 「平成18年度に平成13年度から平成17年度 修了生に対して行った「<u>教育改善のための 卒業生アンケート</u>」によれば」</p> <p><b>【理由】</b> 学部・研究科等の現況調査表 教育「8. 工学研究科」別添資料Ⅱ「<u>教育改善のため の卒業生アンケート</u>」（平成19年3月）P.3 の上から1行目に「平成14年3月から平成1 8年3月」と記載している。 上記のとおり理由から、修正文案のと おり変更願いたい。</p>	<p><b>【対応】</b> 意見のとおりとする。</p>

## 学部・研究科等の研究に関する現況分析結果

学部・研究科等番号・名称：5・生体調節研究所

申立ての内容	申立てへの対応
<p><b>【評価項目】</b> I 研究水準 1. 研究活動の状況 <b>【判断理由】</b></p> <p><b>【原文】</b> 「研究の実施状況については、平成19年度の教員一名当たりの平均原著論文数は、4.9件あり、多くのトップジャーナルに掲載され、……」</p> <p><b>【申立内容】</b> <b>【修正文案】</b> のとおり変更願いたい</p> <p><b>【修正文案】</b> 「研究の実施状況については、平成16-19年度における総原著論文の平均インパクトファクター（IF）は、4.9であり、多くのトップジャーナルに掲載され、……」</p> <p><b>【理由】</b> 学部・研究科等の現況調査表 研究 「5. 生体調節研究所」 (P. 5-3) の「研究の実施状況」の「① 論文・著書等の研究業績や学会での研究発表の状況」の上から2行目では、「インパクトファクターの平均が4.9」と記載しており、かつ、資料I-A「論文・著書数とIF」においても同様に、インパクトファクターの平均値4.9を記載している。 上記のとおり、ここでの記載は、教員一名当たりの平均原著論文数ではなく、論文の質を示すインパクトファクターの平均値を示していることから、修正文案のとおり変更願いたい。</p>	<p><b>【対応】</b> 意見を踏まえ、判断理由の一部を修正する。</p> <p><b>【理由】</b> 判断理由を明確にするため、以下のとおり修正する。</p> <p>○判断理由 「研究の実施状況については、平成16年度から平成19年度に発表された原著論文数は149件であり、また、その質を示すインパクトファクター（IF）は平均4.9となっており、多くのトップジャーナルに掲載され、……」</p>